

算をかけることはできないのかなと感じます。

**市長** そうしたご指摘をいただけるのは、観光大使に就任いただいたからこそです。私たちが承つて、実現に向けて動きます。

## 新しいスタイルの観光PRを

ー観光PR動画や新聞広告などさまざまな手段で、田村市の観光PRに尽力されています。現在の取り組みを教えてください。



石田

僕が観光大使になつたからには、福島県全体をPRするよりも、一つの市で簡単だと思います。一方で、田村市だけをPRしても、多くの方々の関心は集めにくいでしょう。保科さんは石川県観光大使、僕は田村市観光大使、今度は2人で宮城県気仙沼市の大天使（みなと氣仙沼大使）になりました。これから僕が保科さんと目指すところは、県庁所在地ではない市をいくつかつなぎ、そして同時にPRすることで、もっと多くの方々の関心を集められるのではないかと。市と市

市長 私たちにとっては、いろいろなものが広がっていくような感じがして、ワクワクしています。

石田 観光は、まず数字が見えないことには何も言えません。僕は、例えば夢グループのホームページにどのぐらいアクセス数があるか、同時に自分がPRした時、どのように数字が伸びていくのかを常に見ています。僕たちは、一つのものをゆっくり育てる時間はありません。人が100年かかるところを1年でやる努力をしなければいけないのだと。努力というものはお金だけの努力ではなく、アイデアが一番だと考えています。アイデアは、一番お金がかからないものです。お金をかけてしまったものは、失敗すると取り返しがつきません。アイデアをどう持つかが大事です。観光PRでも「月にいくつぐら

かるところを1年でやる努力をしなければいけないのだと。努力というものはお金だけの努力ではなく、アイデアが一番だと考えています。アイデアは、一番お金がかからないものです。お金をかけてしまったものは、失敗すると取り返しがつきません。アイデアをどう持つかが大事です。観光PRでも「月にいくつぐら

石田

いするのか」「動画やメッセージはどれくらいの人たちが関心を持つのか」ということを、研究して前に進めていく努力をすれば、面白いのかなと思います。

ー最後に、市観光大使としての今後の展望をお聞かせください。

石田 田村市民から「石田社長が田村市観光大使になつてよかつた」と、思つてもらいたいです。今の田村市は、細かいことをいろいろやりすぎているのではないかと感じています。一番メインとなるものに力を入れて、目標を設けて、努力することが大事でしよう。そのために、あぶくま洞の入洞者数を増やすためPRをいっぱいしたい。そこから、さまざまな取り組みを進め、成功体験を増やしていくたいです。田村市民から「石田社長が観光大使になつて、ありがたいね」と言ってもらえるように頑張っていきたいです。

**市長** まずは、あぶくま洞を拠点に田村市観光の魅力を発信し、市内を周遊してもらいたいと考へています。**石田** 僕だったら、あぶくま洞の入洞者数を伸ばすため、あぶくま洞に生息する生き物をモチーフにした、ぬいぐるみを作つて売り出しますよ。洞内に入つてからが勝負ではなく、あぶくま洞のイメージを違つた意味でPRすることも必要でしょ。ぬいぐるみを動画や交流サイト（SNS）を使ってPRし、多くの人の注目を集めれる仕掛けを考えますね。

**市長** スカイパレスときわでは、タガメを入れたサイダーや食用コオロギをちりばめたアイスを提供したところ、多くの方から注目を集めました。



夢グループのコンサート等で販売しているコラボ商品

## Information インフォメーション

市公式YouTubeで、石田社長、保科さんが出演する市観光PR動画を公開しています。

問産業部 観光交流課 ☎ 81-2136



たくなるような、女性目線の考え方を取り入れるといふ思います。洞内のグラデーションはきれいなので、それにちなんだアクセサリーを作つてみるのも面白いでしょう。

